

令和3年12月定例会一般質問表

12月6日、7日、8日

受付順	質問者	質問項目・要旨・内容 1、2、3、(1)、(2)、(3)①、②、③…	答弁を求める者
1	3 番 山 口 裕 昭 議 員	<p>1. 来年の7月に任期満了を迎える市長選挙について</p> <p>先日、政権選択を行う総選挙において与党が安定多数を確保する結果となりました。これは、この困難な問題が山積する状況の中、国民の意思は、政治の安定と継続性を求めたものと思います。</p> <p>本市においては来年7月に任期満了により市長選挙が予定されている訳ですが、新型コロナの感染対策やその収束に向けた経済対策など、市政の継続性が必要な難問は正に山積しております。</p> <p>今後の市政運営の円滑化を図るためにも、来年の任期満了に向け市長自らの進退を明らかにすべき時期に来ていると考えますが、市長のお考えを伺います。</p> <p>2. アフターコロナに向けた経済対策について</p> <p>先の6月議会で「コロナ禍の経済対策」について質問を行った際に、このまま順調にワクチン接種が進めば秋以降に急激に感染が収束する可能性について言及いたしました。が、ワクチン接種の進展等により10月以降感染が急速に減少傾向となっている状況です。</p> <p>この間、自治体の緊急事態宣言が全て解除され、国内は一気にアフターコロナへの動きが進んでいます。</p> <p>6月議会ではコロナ収束後の経済対策について、「収束傾向が定まった後では後手に回るため、感染拡大局面でこそ出口戦略として検討を進めるべき」と提言させていただきました。</p> <p>「先んずれば即ち人を制し、後るれば則ち人の制するところとなる」との故事成語にもあるように、全国すべての自治体がアフターコロナの流れに一気に動き出す中で初動が遅れば、どんなに良い施策を行っても陳腐化してしまう可能性さえあります。</p> <p>今回のような全国同時に経済が動き出す状況下ではスピード感こそが必要であると考えます。</p> <p>このことを踏まえ以下の質問を行います。</p> <p>(1) 6月の一般質問ではコロナ収束後の経済対策について今のうちから準備を行うべきと提言しましたが進捗を教えてください。</p>	市長 市長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
1	3 番 山 口 裕 昭 議 員	<p>(2) 市内の経済を考えた時、まずは観光業と飲食業の復興が急務だと考えるが、他の自治体に先んじて行った、または行う予定の施策はあるか教えて頂きたい。</p> <p>(3) 現在、様々な自治体でワクチンパスポート活用の動きが出てきており、その提示により様々なインセンティブを付与する場合もあるようです。 6月・9月の一般質問でも提言しましたが、企業と顧客がお互いに安心できる win-win の状況を作り経済を活性化させるためには、ワクチン接種証明の活用は必要だと考えます。 改めて導入について再考を求めたいと思いますが、如何でしょうか。</p> <p>(4) 2019年の9月議会で地元の中小企業が活躍できるビジネス環境を創出し、地元企業を成長させることにより地域経済を活性化させる政策としてエコノミックガーデニングという取組を紹介させていただいた。 エコノミックガーデニングとは、1987年にアメリカ・コロラド州のリトルトン市で始まった政策で、大まかにいえば「地元企業が成長する環境を作る」政策と言える。 これは、例えば地域経済を「庭」、地元の中小企業を「植物」に見立て、地域という土壌を生かして地元の中小企業を大切に育てることにより地域経済を活性化させる政策であり、長期的な中小企業の振興効果が見込まれる施策で、日本において取り入れられている。 エコノミックガーデニングでは選択と集中が基本的な考え方であり、本市のように小規模で中小企業が市内経済の中心である自治体が、限られた予算をうまく活用して企業育成を行うために適した施策と言え、アフターコロナの状況下で今後市内の経済を活性化させるために最も適した施策であるように考えられる。 今後、他自治体との差別化を図り市内経済を活性化させるためにはこのような試みも必要ではないかと思うがどのようにお考えか。</p> <p>3. 南陽市ゼロカーボンシティについて</p> <p>先日、イギリスのグラスゴーで開催されていた COP26 が閉幕いたしました。 その中では我が国においても、今後の脱炭素社会への転</p>	市長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
1	3 番 山 口 裕 昭 議 員	<p>換について取り組みを加速させていく方向性が示されました。</p> <p>しかしながら、国内の電源構成は CO2 排出についてシンボリックな存在となっている石炭火力発電が大きなウェートを占めている現状であり、国内の石炭火力が石炭ガス化技術やアンモニアとの混焼技術により CO2 の排出量が世界でも最低水準になっているとはいえ、その姿勢について多くの疑問の声もあるようです。</p> <p>本市においては、昨年12月23日に南陽市ゼロカーボンシティ宣言を行い1年近くが経過しており、そろそろ具体的な方針や成果が見えてくるころであると考えます。</p> <p>このことを踏まえ、本市が今後2050年までにカーボンニュートラルを達成させていくという大きな目標にチャレンジしていく上で確認しておきたい事を何点かお伺いします。</p> <p>(1) 南陽市ゼロカーボンシティ宣言を行ってから1年近くが経過している訳ですが、その間どのような具体的な取り組みがなされたのか。</p> <p>また今後の具体的な取り組みについて、現在計画している内容があれば教えて頂きたい。</p> <p>(2) カーボンニュートラル達成のためには、再生可能エネルギーの活用が必須であると考えます。</p> <p>再生可能エネルギーは自然環境に左右されるものが多く、地域間での向き不向きの問題がありますが、その中でも太陽光発電は一般的に多くの自治体、地域で設置されている汎用性の高い電源であると考えます。</p> <p>設置に当たっては景観や環境負荷などの問題もありますが、今後本市においてカーボンニュートラルを進めていく上で積極的な導入または振興策をとる計画があるのか伺います。</p> <p>(3) カーボンニュートラル達成のためには市内施設の省エネ化が必須で、大胆な設備投資が必要な場合もあると考えます。</p> <p>限られた財源の中で事業を進めていくには、優先順位を設定した上で計画的な予算執行が必要になりますが、優先順位設定の基準はどのように決めるのでしょうか。</p>	

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
2	2 番 佐 藤 憲 一 議 員	<p>1. 第6次南陽市総合計画、まちづくり（地域づくり）について</p> <p>(1) 総合計画の基本構想の中で、基本理念に基づくコンセプトとして、次の4項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域を牽引する人材を育てる 2 あらゆる地域資源を活用する 3 地域協働を推進する 4 新たな切り口、新たな捉え方、新たな活用を取り入れる <p>の4点が掲げられ、この基本理念をもとに、まちづくりに取り組み、将来像の実現を目指していくとされている。</p> <p>また、令和7年度までの「前期基本計画」並びに令和3年度から5年度までの「3カ年実施計画」の中で、次の7項目の「基本目標」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 健やかで安心な暮らし・子育てを実現する 2 地域に根差した人材を育てる 3 力強い産業の基盤をつくる 4 強くてしなやかなまち・住みよいまちをつくる 5 自然の豊かさを守る 6 人がつながりまちを育てる 7 発信力のあるまちづくりを進める <p>以上の基本理念コンセプト、基本計画、実施計画を具現化することにより、本市の将来都市像である「つながり つどう 縁結ぶまち 南陽」を実現できるものと確信するが、特に32項目もの「基本施策」を進めるにあたり、行政組織をどのように有機的に運用し、また具体的な施策を推進するにあたり、どのような形で統括していくのかお尋ねします。</p> <p>(2) 南陽市国土利用計画も、第6次総合計画に即しながら、前計画が改定され、計画における地域区分が北部、東部、西部、南部、中部の5地域に区分されていますが、行政区分は南陽市誕生以来、赤湯、中川、宮内、漆山、金山、吉野、沖郷、梨郷地区の8地区で、それぞれの地区に常設の公民館が設置され、公民館を拠点にまちづくり（地域づくり）が進められている。</p> <p>総合計画の基本理念に基づくコンセプトに</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域を牽引する人材を育てる 2 あらゆる地域資源を活用する 3 地域協働を推進する 	市長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
2	2 番 佐 藤 憲 一 議 員	<p>4 新たな切り口、新たな捉え方、新たな活用を取り入れる の4点を掲げているが、まちづくり（地域づくり）の観点から、4項目の具体的施策、また推進策についてお尋ねします。</p>	

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
3	4 番 島 津 善 衛 門 議 員	<p>1. シビックテック推進への取り組み</p> <p>社会環境が変化し、人々の生活スタイルも多様化する中で、地域社会が抱える課題はますます複雑化しています。コロナ禍で一変した日常生活のあり方も含め、すべての課題解決を行政に頼るのは、もはや限界に達しつつあります。</p> <p>こうした中、身近になったデジタル技術や、国・自治体などが公開するオープンデータを活用し、市民の手で行政や企業と連携しながら地域のさまざまな課題を解決しようというシビックテックの取り組みが加速しています。シビックテックとは、Civic（市民）と Tech（テクノロジー）を掛け合わせた造語で、市民がテクノロジーを活用して、地域が抱える課題を解決しようとする取り組みや考え方です。</p> <p>これまで関わり方が限られてきた公共領域への参加の方法が多様化され、誰もが自分たちの好きな時に好きな方法で参画できるようになります。単に便利で効率的なサービスを行政が提供することを求める声もあるでしょう。しかし、市民が主体的に社会課題解決に貢献するための環境を整えることが、自分を含めた多様な人たちをそれぞれ配慮することにつながり、結果的に南陽市を発展させるものだと考えます。</p> <p>当市におけるシビックテックの取り組みをお尋ねします。</p> <p>2. 科学的介護の導入現状</p> <p>高齢者の尊厳を保持し、自立した日常生活を支援することを理念とした制度を確立するために、2017年より、有識者による「科学的 裏付けに基づく介護に係る検討会」が開催され、今年度から、厚生労働省では、「科学的介護情報システム＝L I F E」という、新たなシステムを開始しました。</p> <p>システムに登録した事業所は今年5月時点で約6万に上っているとされており、当市内の事業所における取り組み状況をお尋ねします。</p>	<p>市 長 関係課長</p> <p>市 長 関係課長</p>

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
3	4 番 島 津 善 衛 門 議 員	<p>3. 農業従事者の高齢化問題</p> <p>日本の農業は今や深刻な高齢化の問題を抱えています。農林水産省の発表によると、2010年の「農業就業人口」は約260万人でした。しかしその後は、毎年10～50万人ほど減り続け、2019年には約168万人にまで減少しました。</p> <p>2010年の農業就業人口のうち、65歳以上は約160万人で全体の約6割、平均年齢は65.8歳でした。2019年になると、65歳以上は約118万人で全体の約7割を占め、平均年齢は67.0歳でした。農林業センサスの構造動態調査によりますと、基幹的農業従事者では、令和2年 136.3万人 平均年齢 67.8歳、新規就農者 53.7千人のうち49歳以下 18.4千人です。農業従事者の高齢化が進んでいることが窺えます。</p> <p>この農業人口の6割が65歳以上であり、35歳未満の働き盛りはわずか5%という現実が非常に大きな問題となっています。</p> <p>65歳以上というよりそれより高齢の人もいるということで、農家の平均年齢はなんと68.5歳、ほぼ70歳に近い世代が一生懸命農業に従事していることとなります。</p> <p>高齢と言われる農家の労働の統計として、70歳までの年代の人がいる農家では、全体の7割が農作業を全て「自分が中心となって」切り盛りしているという結果です。</p> <p>後継者がいないということもあり、手伝ってくれる人がいないことから、農作業中による事故も増えています。</p> <p>国の政策としては若い世代の育成や、地域による収穫期の協力体制を強めること、更には外国人労働者の採用などを推奨しています。しかし、たった5%の若い世代を増やす為には小さな政策では限りがあります。高齢者を除いた農業人口を増やす為には農業にメリットを増やすことを考える必要があります。</p> <p>当市における今後の農業従事者高齢化対策をお尋ねします。</p>	市長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
3	4 番 島 津 善 衛 門 議 員	<p>4. 自主防災組織の活性化</p> <p>よく防災意識の高揚が必要と言われますが、本当に住民は意識が低いのでしょうか？例えば、有名な芸能人の結婚や紅白歌合戦放送の翌朝に近隣住民が「芸能界のこと」、「紅白のこと」をそろって朝の会話に出すことはありません。しかし、台風や地震がきた翌朝の第一声は「お宅大丈夫でした？」とか「昨日の地震大きかったですね」という話題が飛び交います。つまり意識はあるのです。ただ、それが行動に結びつかないのが現実で、意識と行動との間には相当のひらきがあります。</p> <p>現実的に自主防災組織を動かそうとすると、各種自治会活動と同様にそれはやはり大変です。自主防災組織連絡協議会の総会の中では出席者の方々より多数のご意見があったとお聞きしています。</p> <p>今後の自主防災組織活性化について、総会での意見の内容と今後どのような取り組みを考えておられるかお尋ねします。</p>	市 長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
4	8 番 山 口 正 雄 議 員	<p>1. 少子化の中での持続可能な中学校部活動について</p> <p>中学校の運動部活動は、体力の向上、学習意欲の向上や自己肯定感、責任感、連帯感などの涵養、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培い、実践的な思考力や判断力を育むなど、多様な学びの場として教育的意義が大きく、豊かな人間性を育む基礎となるものであります。と同時に、我が国のスポーツ振興を大きく支える礎にもなっております。</p> <p>その部活動問題の根本にあるのは「部員数の減少」「それに伴う教員の減少」そして「顧問を務める教員の超過勤務」だと言われております。教員の負担増加を背景として、学校の運動部活動は現状のままの維持が困難になってきているようであります。スポーツ庁が「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を策定し、それを基に本市でも「南陽市における運動部活動の在り方に関する方針」を策定されました。</p> <p>こういった状況を踏まえ、運動部活動の現状と将来的に生徒たちがやりたいスポーツができ、且つ持続可能な運動部活動にするための方策等についてお伺い致します。</p> <p>(1) 部活動の現状について</p> <p>① 現在と10年前(統合時)の生徒数、教員数及び部活動数はどう変わっているのか伺います。</p> <p>② 単独チーム編成が困難なため合同チームでの活動状況はどうなっているのか伺います。</p> <p>③ 教員が担当する部活動の競技経験がない割合について伺います。</p> <p>④ 外部指導者と部活動指導員はどう違うのか伺います。</p> <p>(2) 将来的に持続可能な部活動の方向性について</p> <p>① 合同チームの積極的活用について伺います。</p> <p>② 部活動種目の見直しについて伺います。</p> <p>③ 「学校と地域が協働・融合した形での部活動を検討するなどのスポーツ環境整備を整える」としているが、具体的にどのように考えておられるのか伺います。</p> <p>④ 持続可能な部活動にしていくための(仮称)部活動検討委員会の設置が必要と考えますが、当局の考えを伺います。</p>	市 長 教 育 長 関 係 課 長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
5	6 番 高 橋 一 郎 議 員	<p>私は「南陽市に住んでみたい、行ってみたいと思えるような誇りある 南陽市」をめざして※ロハスシティー南陽を唱え、一般質問を通し政策的な提案をしています。以下のことについて、市長にお伺いします。</p> <p>※ロハス:Lifestyles of Health and Sustainability 頭文字をとった略語。健康と環境、持続可能な社会生活を心がける生活スタイル「LOHAS」のこと。</p> <p>1. 旧ハイジアパークから烏帽子山公園一帯の整備について</p> <p>東は白竜湖と十分一山、西は梨郷の龍樹山まで、南は赤湯と沖郷を眺望できる烏帽子山公園周辺。</p> <p>加えて「南陽を世界ブランドにする」四季南陽さんの壮大な計画とあいまって、旧ハイジアパークから烏帽子山公園一帯を整備していく以下の構想について、市長のご所見を賜りたい。</p> <p>(1) 上野から狸沢農道を抜け、赤湯秋葉山に行く際の駐車場の設置</p> <p>(2) 烏帽子山公園見晴らし台の周辺整備</p> <p>① 見晴らし台へのアクセス道路整備 南側の鋭角なカーブでの昇降でなく、烏帽子山八幡宮手前から入るルートの整備</p> <p>② 見晴らし台登り口付近の駐車場の設置</p> <p>③ 薬師寺南側の側道から見晴らし台への周遊ルートの整備</p> <p>(3) 「烏帽子山公園周辺整備計画」平成30年2月の具体化計画</p> <p>計画書では次の3点を力点としているが、その具体化についてお伺いします。</p> <p>① エドヒガンとソメイヨシノが共に美しい公園</p> <p>② ビューポイントとしての見晴らし台の整備</p> <p>③ 地域と行政の連携・協力</p>	市 長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
5	6 番 高 橋 一 郎 議 員	<p>(4) トイレの改修、新設等について 御坂前のトイレの改修または撤去は行わないのでしょうか。また、トイレ新設（たとえば見晴らし台、西駐 車場）についてのお考えは。</p>	

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
6	16番	<p>1. 来年度の予算編成について</p> <p>(1) 基本姿勢は。</p> <p>(2) 予算編成における重要施策は。</p> <p>(3) 来年7月の市長選挙を控えての予算編成は極めて重要と考えますが、白岩市政独自の施策は。</p> <p>(4) 税収の見通しは。</p>	市長
	佐藤	<p>2. 来年度の予算編成にあたり、次の項目が緊急で重要課題かと考えますが、市長の考え、ご見解は</p> <p>(1) コロナ対策、医療と保健体制の強化。</p> <p>(2) くらしと営業、雇用を守り、持続可能な地域づくり。</p> <p>(3) 子ども・学生の学びと成長を保障しジェンダー平等を守る。</p> <p>(4) CO2削減、再生可能エネルギーの利用促進。</p> <p>(5) 農業経営が成り立つ条件を整え、後継者が育つ農政を。</p>	市長
	議員	<p>3. 介護保険について</p> <p>(1) 特別養護老人ホームなどの利用料が8月から跳ね上がった高齢者が相次いでいます。介護保険の仕組が改悪され、低所得が対象の食費・居住費の軽減措置が縮小されたためです。費用が2倍になった人も少なくありません。コロナ禍で暮らしが傷んでいるさなかに容赦なく負担増を強いるやり方に利用者・家族の不安と怒りが広がっています。経済的理由から施設に入ることをあきらめる人が続出するおそれもあります。こういった状況の中、改めて介護保険に対する市の考え、対応を求めるものであります。</p>	市長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
6	16 番 佐 藤 明 議 員	<p>(2) 新型コロナウイルス感染拡大の影響で、2020年度の通所介護（デイサービス）や病床の利用率が低下したことが、独立行政法人福祉医療機構の調査（速報値）で分かりました。コロナによる介護や医療の利用、受診控えの実態が改めて浮き彫りになっています。南陽市の状況、実態は。</p> <p>(3) 介護保険の滞納によって預貯金などの財産を差し押さえられた65歳以上の人が2019年度は21,578人で過去最多を更新した事が厚生労働省の調査で分かりました。2万人を超えたのは初めてです。長年の自公政権による給付削減で介護保険サービスが受けにくくなる一方、国民は相次ぐ負担増を強いられています。南陽市の状況と実態はどうなっているのか。</p> <p>(4) 介護保険の負担増に対し、市の負担軽減、減免制度の拡充、創設が緊急に必要と考えますが市の対応は。</p>	

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
7	5 番 高 岡 亮 一 議 員	<p>1. コロナ禍出口戦略を問う</p> <p>最近の国内の感染者数を見る限り、連日二桁の数字で「限りなくゼロに近い」と言っている。もうそろそろ「コロナ怖い」神経症から解放されて、一刻も早く元の暮らしに戻すべきは戻したほうがいい。その観点から質問する。</p> <p>(1) ワクチン接種について</p> <p>町医者として第一線でコロナ患者診療にあたってきた兵庫県尼崎市の医師によると、兵庫県感染者ゼロの一方で、コロナ後遺症患者より、ワクチン後遺症の方が多く、受診者のうち3割に及ぶという。厚労省によると、11月12日発表段階で、ワクチン接種後の死亡者数1,359人、重篤者数5,607人に及ぶ。コロナによる重篤者、死亡者はコロナ以外の持病あつてのことがほとんどと考えられるが、ワクチン接種による副反応は、全く健康な人が突然発症するだけにことは深刻だ。従来のワクチン接種の例を見れば、健康な人を襲うこれだけの副反応報告があれば、慎重になって当然なのに行政、マスコミにその気配は一切ない。そうした中、《世界保健機関WHOは24日、新型コロナウイルスの変異株「デルタ株」に対するワクチンの感染予防効果は約40%であると指摘し、人々がワクチンに対して持つ過信について警告した。》との報道です。冷静になって考えてほしい。</p> <p>① 南陽市におけるワクチン接種による副反応について、どう把握しているか。</p> <p>② 南陽市の12才以上の2回目接種90%に達しているが、3回目接種をどう考えているか。</p> <p>③ 12才未満への接種をどう考えているか。</p> <p>④ ワクチンパスポート的方向をどう考えるか。</p> <p>(2) マスクについて</p> <p>マスクの効用を否定するものではない。しかしほとんど100%の人がマスク着用というのは明らかに異常である。現下の感染状況をみれば、行政が率先してマスク着用圧力からの解放の道筋を打ち出すべきと考える。</p> <p>① マスク着用についての公的根拠はあるのか。</p>	市 長 教 育 長 関 係 課 長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
7	5 番 高 岡 亮 一 議 員	<p>② 小中学校の児童生徒および教職員のマスク着用についての現状は。</p> <p>③ 「マスク病」等の弊害の指摘も出ているが、今後行政としてどう考えてゆくか。</p> <p>2. 南陽市における遺跡・文化財保護について</p> <p>(1) 北町遺跡について</p> <p>① 現段階での評価は。</p> <p>② 今後どう進めてゆくか。</p> <p>③ 市民への周知啓蒙をどう考えているか。</p> <p>(2) 池黒皇大神社「応徳3（1086）年棟札」について 棟札として日本最古の可能性との指摘が出ているが、市として今後何ができるか。</p>	市 長 教育長 関係課長

